

事業所名	びすと学舎・プラス		公表日		2025/3/31
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用者が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			利用者の様子によって調整での対応がよい場合も使い分けができるようになっている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			急な職員の退職があった時期もありましたが、適年で基準以上の職員配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、障壁上の配慮が適切になされているか。	○	○		今まで機器はないが、機が一部の部分やスロープが無いことの声がかかるが、
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの通いのしやすさや空間となっているか。	○		自動お排出口ポートの導入	こどもたちにも理解するための提供をし、使用している部屋や物に感謝ができるようなプログラムを検討中。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○			定期的に個人面談と個別支援計画表を作成。毎月面談、本人の進捗と目標とそれについて振り返りを行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意や希望を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に活かしているか。	○			
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		利用児童や保護者を通じて、学校等からみた当施設についての意見などを収集して話し合っている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を企画する機会や法人内等での研修を開催する機会が確保されているか。	○		多事業所への見学や、連携	当面研修について、都府県知事参加を促しています。また、内部研修では研修機会を開設し、職員間の考え方のミーティングの機会もあります。
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムを作成、公表されているか。	○		ホームページへの掲載	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、支援後等でのサービス計画を作成しているか。	○			子ども本人や保護者と定期的な面談を行い、課題となっている部分を相対して確認し、個別支援計画表を作成している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者がたて、こどもの発達に際する職員が共通理解の下で、こどもの成長の利益を考慮した検討が行われているか。	○			事業所独自のアセスメントシートを使用しております。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			児童発、児童指導員、作業療法士のチームでプログラムを立案している。
	15 こどもの通行動向の状態を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			事業所独自のアセスメントシートを使用しております。
関係機関や保護者との連携	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「事業支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も記載されているか。こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援の旨が明記されているか。	○			計画書の課題の他にも、目立つ部分等あれば直接保護者にききうやうし、課題設定の見直しではないが、本人と確認をしてガイドラインの範囲を全土に確認してもらうようにしています。
	17 活動プログラムの立案チームを行っているか。	○			児童発、児童指導員、作業療法士のチームで立案しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			利用希望のお子様の人数や、季節・イベントなどを取り入れながらプログラムを決定しています。
	19 こどもの状況に応じて、個別対応と集団活動を適切に合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			話し合いの場を設けることや、制作など個別で参加できることなど、プログラムの進捗と適宜に追加できるようにしています。毎日、支援開始前のミーティングの時間を活用し、詳細な職員間で共有しています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			気づいた点など情報共有ツールを使い、職員間で子どもの様子の認知に差が出ないよう調整共有している。
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した点等を共有しているか。	○			毎日、日報を取り出し確認し、個別の課題など職員間で共有しています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な対応を行っているか。	○			計画書の課題の他にも、目立つ部分等あれば直接保護者にききうやうし、課題設定の見直しではないが、本人と確認をしてガイドラインの範囲を全土に確認してもらうようにしています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つ基本事項」を徹底し、支援を行っているか。	○			計画書の課題の他にも、目立つ部分等あれば直接保護者にききうやうし、課題設定の見直しではないが、本人と確認をしてガイドラインの範囲を全土に確認してもらうようにしています。
	25 こどもが自己選択できるように支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	○			仲間が必要ない子もいるが、できるだけ本人が選べるような選択の工夫をしています。
関係機関や保護者との連携	26 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議で、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○			お子様の事を理解しているスタッフで、児童指導員が名で参加できるようにしています。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○		こちらから積極的に情報共有はしていませんが、相談支援事業所を介して共有出来ているところはあります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			送迎時に学校の先生とお話できる時間を設け、学校から使用しているプリントのコピー、電話やLINEを使用して調整しております。
	29 放課後に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との関係が良好で相互理解が図れているか。	○			事前に他事業所の利用がある場合には情報共有に努めており、初利用の保護者にも説明している。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の観点から見て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			こちらから積極的に情報共有はしていませんが、相談支援事業所を介して共有出来ているところはあります。
関係機関や保護者との連携	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			おがのスタッフに来所してもらい、ケース検討や研修会を実施しています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のもとも活動する機会があるか。	○			各事業所は画面上ある絵画型にて、障所以外の子どもとの関わりや交流を持てる機会があります。
	33 （自主支援）協議等へ積極的に参加しているか。	○			一昨年は、子ども部会委員をさせて頂いておりました。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と話し合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			主にLINEを使用し、必要に応じて対応させていただきます。
	35 家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修会の情報提供等を行っているか。	○	○		家族会などは、コロナや感染症の影響もあり消滅した状態になっています。
関係機関や保護者との連携	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用契約時に重要事項説明・利用契約を通じ運営規定や支援について、利用者負担等の説明をし、適宜説明責任の徹底をしながら進めています。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の考え方を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			昨年より計画の直式を変更し、保護者面談は事前に開催して相談や説明をさせて頂いています。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			昨年より計画の直式を変更し、保護者面談は事前に開催して相談や説明をさせて頂いています。
	39 家族等からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			主にLINEを使用し、必要に応じて対応させていただきます。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいの同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○		家族会などは、コロナや感染症の影響もあり消滅した状態になっています。
関係機関や保護者との連携	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することにより、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			主にLINEを使用し、必要に応じて対応させていただきます。
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			プログラムで広報誌の作成をしており、定期的に発信しております。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類やファイルは鍵付の書庫で管理しています。	個人情報取扱同意書をご用意し、同意いただいております。
	44 障害のあるこどもと保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			主にLINEを使用し、必要に応じて対応させていただきます。
	45 事業所の所在地に地域住民を招く等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○		コロナで個人情報の取扱いが厳しくなり、少し見守り対応ができています。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			いずれも策定済みです。
	47 定期的な避難訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			防災セターの活用をしています。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			てんかん発作のお子さんはおりませんが、服薬や予防接種の勉強会を実施予定です。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			現在はありませんが、過去に保護者からの情報提供があるお子様がいっりました。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			策定済みです。
関係機関や保護者との連携	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組等について、家族へ周知しているか。	○	○		以前より、主にLINEを使用し必要に応じて対応させていただいていましたが、計画の急で周知しています。
	52 ヒヤリハット事業所内で発生し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	○	○		事例集の作成をしております。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			定期的に、法人全体で研修をしています。
	54 どういう場合においても必ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に該当する行為があった場合は速くや保護者へ報告、承認を得て記録に残していくようにしています。	速くや保護者へ報告、承認を得て記録に残していくようにしています。